

わ

く

わ

く

3月号



本だな

1 2 3 年



E 『つちをほらなくなったスチームショベル』

ジョージ・ウォルターズ／文 ロジャー・デュボアザン／絵

こみやゆう／訳 好学社

スティーブはげんきなショベルカーですが、男の子に「土をたべてきたない」といわれ、はたらくのがいやになります。

土のかわりに、パンやリンゴやオレンジを食べようとおもい、こうじげんばをとび出したので、町はおおさわぎです。

えほん

K913 『ぼくのなまえはユウユウ』

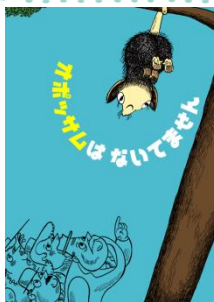
どうぶつのかぞく パンダ』

小手鞠るい／作 サトウユカ／絵 今泉忠明／監修 講談社

ユウユウは、竹林でくらすやせいのパンダです。お母さんから教わって竹の葉を食べ、木のぼりにちょうせんします。

もうすぐ、生まれてから1年半。ユウユウは、お母さんとわかれて、ひとりだちしなければなりません。

ものがたり



K933 『オポッサムはないてません』

フランク・タシュリン／文・絵 小宮由／訳 大日本図書

木にぶらさがって、にこにこしているオポッサム。下から見上げると、口元がさがっていないように見えます。

それを見た人間たちは、なんとかしあわせにしていようと、えいがかんやディナーショーへつれていきますが……。

ものがたり

E 『「いたいっ!」がうんだ大発明』

ばんそうこうたんじょうものがたり』

バリー・ウィッテンシュタイン／文 クリス・スー／絵

こだまともこ／訳 光村教育図書

今から100年前のアメリカ。けっこんしたアールさんは、おくさんが料理のたびにケガをするので、しんぱいしていました。

どうしたらよいか考えつづけ、ひらめいたのが、ばんそうこうです。自分できずぐちにはることができ、ばいきんが入りません。

ちしきのほん



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね! <編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200

わ

く

わ

く

3月号



本だな

4 5 6 年



物語



K913 『転校生は<sup>にんじや</sup>忍者?!』

もとしたいづみ／作 田中六大／絵 佼成出版社  
忍者の村に生まれたしのぶは、修行のため、東京のひいばあちゃんの家へ越してきました。転校先の小学校では、しのぶが忍者であることは、ぜったいにひみつです。

でも、階段をいっきにとびおりたり、「はっ」と返事をしたり、つい忍者のくせが出てしまいます。そんなある日、友だちのあんりの色鉛筆がなくなるという事件が起こりました。

K913 『スケッチブック 供養絵をめぐる物語』

ちばるりこ／作 シライシウコ／絵 学研プラス  
紗里奈は、祖母が住む岩手県遠野を訪ねます。幼いころに亡くなった母が好きだったというお寺には、江戸時代から伝わるく供養絵がたくさんかざってありました。

「亡くなった家族がもし生きていたら、こんな生活だったかな」と想像して描かれたと聞き、紗里奈も母の絵を描いたことを思い出します。

物語



K519 『クジラのおなかからプラスチック』

保坂直紀／著 旬報社  
2018年、タイの海岸に打ち上げられたクジラの胃から、80枚をこえるプラスチックの袋が出てきました。わたしたちがよく使うレジ袋やペットボトルなどのプラスチック製品が海に流れこむと、生き物たちがエサとまちがえて飲みこんでしまいます。

川や海でプラスチックごみを拾う、むだなレジ袋はもらわないなど、きっと自分たちにもできることがあります。

ちしきの本

図書館のまどぐちには、くみだてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200